

第18回マチンガ・バトン・バトワークリング岡山県大会 審査規定 ～バトン・カラーガードの部～

1. 審査内容

(1) 作品完成度

①実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ドロップやミスのない到達度の高い完成された作品 ・個々の責任意識が高く、グループプレーや協調性の高い演技 ・グループとしての同調性 ・正確なポジションワークと困難度あるステージングの展開 ・リズムやタイミングの統一性、多様性
②表現	<ul style="list-style-type: none"> ・作品のテーマを主張した、視聴覚の調和された表現 ・フロア、立体、空間によるステージングデザイン ・ユニゾンやアンサンブル、ハーモニーのバランス ・観客への作品アピールやショーマンシップ ・プロジェクションや自信ある演技、リカバリー能力

(2) 全体的効果

①作品効果	<ul style="list-style-type: none"> ・明確なテーマとプログラムコンセプト ・集団美が活かされた作品 ・創造的で独創的な多様性あるプログラム構成 ・視覚と聴覚の一体性 ・衣装やプロップの色彩、デザインと作品との調和
②演技効果	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の理解、解釈 ・音楽の理解、解釈 ・バトンとボディーワークによるデザイン ・フロア、立体、空間によるデザイン ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアワーク ・ミュージカリティ、観客への作品アピールやコミュニケーション

(3) パフォーマンス

①バトン トワーリング	<ul style="list-style-type: none"> ・バトンテクニックの正確さ、優秀さ ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性 ・トワーリングの多様性、困難度 ・エフェクティブなバトンの使い方 ・集団演技の複雑性 ・トワーリングリズムと音楽リズムの調和 ・バトンとボディーワークやステージングの困難度ある組み合わせ
②ボディーワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディーワークの正確さ、優秀さ ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性 ・ボディーワークの多様性、困難度 ・エフェクティブな動きやアングル ・集団演技の複雑性 ・ダンスリズムと音楽リズムの調和

	・ボディーワークとバトンやステージングの 困難度ある組み合わせ
③ステージング	・ムーブメントの正確さ ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性 ・スムーズで困難度あるフォーメーションの展開 ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアワーク ・フロアと立体、空間のステージングデザイン ・フロアデザインと音楽の調和 ・ステージングとバトンやボディーワークの 困難度ある組み合わせ

審査担当者と観点、持ち点

村木 侑子 作品完成度 10点 全体的効果 10点 パフォーマンス 15点
樋口 亜紀 全体的効果 10点

2. コンテストの部の審査

- (1) タイムオーバーによる失格はないが、大会運営に協力すること。
- (2) 各内容の5つの観点についてA～Eの5段階評価をし、
Aが5点・Bが4点・Cが3点・Dが2点・Eが1点に
換算し、その合計点を集計する。その後45点満点を100点満
点に換算(20/9倍して、小数点以下四捨五入の整数値)
- (3) 100点満点中、80点以上を金賞、79点～60点を銀賞、
59点以下を銅賞とする。
- (4) 同一部門から3団体以上の出演があった場合、審査員の審査内容
の観点もふまえ、最も印象に残った1団体に対して審査員特別賞
を授与する。なお、受賞団体の選考については、審査委員会で合
議の上で決定する。

3. フェスティバルの部の審査

- (1) タイムオーバーによる失格はないが、申告時間を遵守すること。
- (2) 審査方法は、コンテストの部に準ずる。(評価あり、点数なし)
- (3) すべての団体に優秀賞を授与します。
- (4) 同一部門から3団体以上の出演があった場合、審査員の審査内容
の観点もふまえ、最も観客を魅了したと判断された1団体に対し
てフェスティバル賞を授与する。なお、受賞団体の選考について
は、審査委員会で合議の上で決定する。

※バトンのすべての部門でICレコーダ審査を行う。

4. カラーガード部門の講評内容

(1) タイムオーバーによる失格はないが、大会運営に協力すること。

(2) 以下の観点①～③について、各審査員が50点×2観点の100点の持ち点で採点し、その合計点を集計し、複数団体エントリーがあった場合にフェスティバル賞授与の参考とする。

- | | |
|--|----------|
| ① 全体的効果とアンサンブル
(全体的効果 50 点、アンサンブル 50 点) | ・・・篠原 修 |
| ② ボディーワーク(表現形式50点、理解度と達成度50点) | ・・・村木 侑子 |
| ③ カラーガードの技術
(表現形式50点、理解度と達成度50点) | ・・・樋口 亜紀 |

(3) すべての団体に優秀賞を授与する。

※すべての部門でICレコーダ審査を行う。

5. カラーガード部門審査内容

(1) 全体的効果とアンサンブル

①全体的効果 …作品の効果と解釈・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚と音楽の調和 ・表現の幅と質 ・コーディネーション ・独創性と多様性 ・ショーマンシップ ・完成度
②アンサンブル …構成・演技の質と技術	<ul style="list-style-type: none"> ・統一性 ・視覚的音楽性(フレージング、解釈、強調) ・同一性 ・リカバリー ・表現慮 ・全体的技術 ・アーティキュレーション ・多様性 ・鮮明度

(2) ボディーワーク

①表現形式	<ul style="list-style-type: none"> ・バラエティー ・コンビネーション ・ダイナミックス ・適正
②理解度と達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング ・ポジション ・リカバリー ・コントロール ・融合 ・タイミング

(3) カラーガードの技術

①表現形式 …手具の動作	• バラエティー • コンビネーション	• ダイナミックス • 適正
②理解度と達成度 …手具の操作	• トレーニング • 融合	• リカバリー • コントロール • タイミング